

個性が輝く まちが輝く

とっぎゃざー

みんな 仲良く 一緒に

2023. 11 . 第29号



よかひとリレー

古賀佳代さん (八女市) にインタビューしました! 2~3

☆男女共同参画に関するキャッチフレーズ応募作品

今後の行事予定・男女共同参画用語・編集後記 4



情報誌「とっぎゃざー」は、男女ともに個性と能力が十分に発揮できる八女市を願って名付けました。

発行：こらぼれーと※(八女市男女共同参画情報誌編集委員会)
八女市 人権・同和政策・男女共同参画推進課 ☎0943-23-1314

※こらぼれーと (共同)
情報誌を編集するメンバーのグループ名です。よろしくお願いします。



新型コロナウイルスによる
人権侵害をなくそう!

正確な情報に基づく、冷静な判断と正しい行動を心がけ、
新型コロナウイルスの悪影響を断ち切りましょう。

一般財団法人

星のふるさと 茶の文化館

館長 古賀 佳代さん



よかひと リレー



プロフィール

1972年生野村生まれ、星野村育ち。短大時代は佐賀県へ。父の勧めで中学1年生から茶道を習う。短大卒業後、茶の文化館開館1年前にオープンスタッフとして採用された。2008年日本茶インストラクターの資格をとる。夫・高校生・中学生の子どもと4人家族。前月号とうぎやざー よかひとリレーの「ほたると石橋の館」館長 内田理絵さんとは、日本茶の勉強会等で交流を持つようになった。

——高校を卒業された後、一度星野村を離れましたが、地元に戻ってくることは初めから決められていたのですか？

祖母の介護が必要になったのを目の当たりにし、短大では、福祉を学びました。実は就職で星野村から出ようと思っていた。しかし、ご近所の八女市の商工観光課の方から、「茶の文化館」開館スタッフとして働いてみないかとお声かけいただきました。茶道に親しんでいたのを知っていただいたのでした。

——オープンから働くなかで、館長就任となられた経緯を教えてくださいいただけますか？

まだ建物も無かった時から、お茶屋さんや茶畑に勉強にでかけたり、研修を重ねてレポートを提出したり館内の備品を揃える等の準備を進めました。スタッフのなかで一番長く働いている立場となった時に、一度、館長にとお話をいただいたのですが、結婚出産もあり一旦お断りしました。その後、体制や環境など様々なことが変化し、子どもが小学校に入学する時に、もう一度お話をいただき、家族に相談して引き受けることにしました。夫や双方の両親の理解、子どもたちの協力なしには出来なかったことです。特に夫は、日常の家事全般、なんでもやってくれます。本当に感謝しています。ただ、私はいつも「ありがとう」「ごめん」をたくさん言っていて、少しだけ疑問に思うことも正直ありました。女性の社会進出・男女共同参画が進んだとはいえ、まだまだ家庭内では女性側が負担する部分が多いと感じますし、それを当たり前とする風潮が根強いのも事実ですね。子育てをしながら仕事を、ということとは、家族の



木をふんだんに使用した館内



ゆっくりくつろげるスペースも

助け合いなしには成り立たないことです。私は両立出来ていないと感じていますし、もしかすると家庭も仕事も中途半端になりはしないか、と葛藤もあります。なにが正解かもわからないまま、今、目の前のやるべきことを精一杯やるだけだと思って頑張っています。

—— 精一杯頑張られている姿、ご家族は誇らしく思われているのではないのでしょうか。

この館内スタッフでは男性女性、と役割分担があれば教えてください。

例えば水道が漏れたとか、機械の部品のことは、やはり男性スタッフが得意で直ぐに動いてくれます。また、私よりも年上のスタッフは人生の先輩であり、様々な相談事に乗ってもらったり、精神的に助けていただくことも多いです。若いスタッフはメニュー開発やSNSでのPR発信が上手で、センス

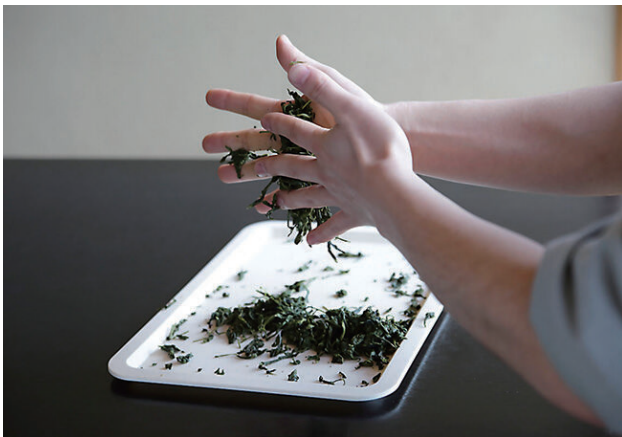


玉露しずく茶

よく撮影してくれるので助かります。男性だから、女性だからと特に仕事内容を区別することはありませんね。スタッフからあがってくるアイデアや提案は出来る限り受け止めて自由に伸び伸びとやりがいを感じる職場でありたいと考えています。

—— お茶の香りが充満し癒しいっぱいの茶の文化館。いろいろな企画がたくさんですね。教えていただける内容があればお聞かせください。

近くにあります「星の文化館」とのコラボで、星に因んだメニューを期間限定で提供したり、星の文化館での中秋の名月の観覧会に出向いて抹茶と和菓



手もみ緑茶作り

子を提供します。年齢や立場が異なるスタッフ、地元の方々がアイデアを持ち寄って星野村全体が盛り上がるいいなと思います。今年は八女茶発祥600周年の記念の年であり、来年は茶の文化館30周年です。スタッフと相談しながらイベント等を自分たちも楽しみたいと思っています。

—— 茶の文化館のおすすめや楽しみ方を教えてください！

「先ずはしずく茶を飲んでみらんね！」ですね。海外のお客様にも喜んでいただいている玉露のしずく茶は、皆さんにぜひ味わっていただきたいです。八女茶寮のカフェ内は、以前からのメニューに加えて、器にも凝ったお洒落なスイーツもあります。また体験工房では茶もみ体験が老若男女問わず人気です。もっとたくさんの方に体験していただきたいと思います。2階には予約制の茶室があります。素敵な和室で会合やワークショップ、お茶会、昼食会としてご利用いただけます。大きな竹のすだれがある窓から見える山の景色、畳に触れる文化の体験も魅力的です。6年前のリニューアル後、入館料無料となり、より利用しやすくなった茶



茶室へつながる露地



茶室空間

の文化館へぜひお越しください。



check!

今後の行事予定

あすばる
男女共同参画フォーラム
2023

2023年
11月25日(土)

クローバープラザ

福岡県春日市原町3丁目1-7
大ホール(アリーナ棟2F)
手話通訳・要約筆記有り

13:00~14:00 参加費・事前申込不要

開会式
第22回福岡県男女共同参画表彰 表彰式

14:00~15:00
スペシャルトーク



ゲスト
KABA.ちゃん
(タレント/振付師)

Profile
福岡市出身。1996年に小室哲哉氏プロデュースのdosのメンバーとして芸能界デビュー。その後、タレントとして数多くの有名なアーティストの振り付けとして活躍。2002年性別同一性障害を公表。2016年に性別適合手術を受け女性に戸籍変更。自分らしく生きるスタイルが支持されている。渋谷を拠点にダイバーシティな社会、ボーダーレスな世界をテーマに活動中。2020年6月から渋谷区観光大使に就任。

カラフル & トグゲザー

Colorful & Together

~みんなでつくろう、みんなであそぼう!~

10:00~
15:30~

県企画事業

映画上映・講演会・ワークショップなど
多数開催

終日

農業女性グループの
ふるさと産直ふれあい市
マルシェ

終日

DV被害者支援
募金活動

パープルリボンピンバッジの販売など

フォーラムウィーク
2023

開催期間
11月19日(日)~25日(土)
※11/20は休館

親子で楽しめるワークショップや
トークイベントなどを予定しています!

詳しくは裏面をご覧ください

イベント開催

GOALS
親子で学ぼう!SDGs
~SDGsカードゲームで未来の世界を体験!~

◎講師/神田 かゆささん
NPO法人SDGs Association 熊本 代表、Universe Quest 代表

◎対象/小学3年生~小学6年生と保護者 15組

◎参加費/無料

自分の行動が世界を変えるSDGs問題。ジェンダー平等など
地球の未来を決定するカードゲームを通して、親子でSDGsを
楽しく学びませんか。

開催日
11月19日(日) 13:30~15:30
第2和室(西棟8F)

要申込(先着順受付)

プレイベント
9:30~10:30



主催 福岡県・福岡県男女共同参画センター「あすばる」/福岡県男女共同参画推進連絡会議(ふくおかみらいねっと)

TEL.092-584-1261

後援 朝日新聞社/西日本新聞社/毎日新聞社
読売新聞社/NHK福岡放送局





男女共同参画に関する

キャッチフレーズ応募作品

男色、女色、
そんな色ないんだよ。
自分の好きな色が、
あなた色。

作：吉田 敬子

輝く個性は未来への道しるべ
輝く個性が織りなす幸せの絆
輝く個性が紡ぐ未来の物語

作：森内 利佳

男女共同参画用語

■ SOGI

性的指向 (Sexual Orientation) と性自認 (Gender Identity) を示す言葉です。「性的指向」は、人の恋愛・性愛がどのような対象に向かうのかを示す概念ことで、対象が異性に向かう場合を異性愛、同性に向かう場合を同性愛、男女両方に向かう場合を両性愛といいます。そして、「性自認」は、「こころの性」とも呼ばれ、自分の性をどのように認識しているかという概念をいいます。

■ LGBT

L = レズビアン (Lesbian)
G = ゲイ (Gay)
B = バイセクシャル (Bisexual)
T = トランスジェンダー (Transgender)

それぞれの英単語の頭文字をまとめたもので、性的少数者の総称の一つとして使われています。それ以外にもアセクシュアル(他者に性愛感情を抱かない人)やクエスチョニング(SOGIが決められない、又はあえて決めない人)などがあります。

4年ぶりに地元の夏祭りが開催されました。地域の方々と当日の炎天下での準備、飾りつけなどは大変な作業でしたが、来て下さった方々の楽し気な笑顔や、中学生のブラス演奏に感動し、癒され、充実したひと時となりました。

八女地区に越してきて20年、これまで地域活動に消極的であった私にとっては、世代や職種を超えた新しい出会いはとても刺激的で、色々な価値観や個性、考え方を知ることになりました。男女共同参画に関するキャッチフレーズにもある「あなた色」を持った方々がこんなにも身近にいたなんて...! 「あなた色」がうんと特別なことでなく、誰にでも当たり前にあるその人らしさなのだと気づかされました。小さな地域の活動とキャッチフレーズを通して、少し人生が豊かになった気がします。

古賀 奈穂

編集後記

